

2016年10月7日
京都表具協同組合

京表具師の技を間近で 第61回「表美展」(表装美術展)開催

～書や画を着飾り、保存する「表具」(掛軸・額装・屏風)の展示～

ベテランから若手まで京表具師76名が所属する京都表具協同組合(所在地:京都市右京区 理事長 田中 善茂)は掛軸・額装・屏風の展示「第61回表美展」(10月29日(土)30日(日)於:京都市勧業館みやこめっせ 入場無料)を開催いたします。

去年60回の節目を迎えた「表美展」であります。今年は気持ちも新たに、伝統的工艺品仕様のものから現代生活様式を意識した作品まで取り揃え、ご来場者に「京表具」の技をご覧頂きたいと思っております。

もっと身近に「表具」を

生活の洋風化に伴い和室ばなれが進んでいる昨今ですが、和柄の壁紙を張った京町家風の飲食店・和雑貨を扱っているお店が増えており、街や観光地には着物姿で歩いている若い方をたくさん見かけることから、現代生活においても「和」を求められているのではないかと思います。

しかし、伝統的工艺品である「京表具」においては、「床の間がないので掛軸を設えるところがない」「家が狭いので屏風なんて置けない」、そして何よりも『京表具』だなんて、敷居も値段も高い」という声をよく聞きます。(当組合主催「もって帰って京都展」でのお客様アンケートより)

そこで、掛軸→タペストリー・屏風→パーティションと、洋室にも取り入れていただくことを考え、身近に表具の技を感じていただける作品もこの「表美展」に盛り込み、幅広い消費者へのPRを狙います。

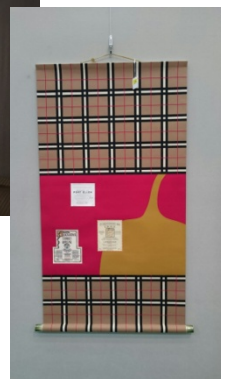
表具師の「手仕事」を間近でご覧ください。

訪れたい都市No.1に輝いた京都、街には国内外問わず、多くの観光客であふれています。土産物店には掛軸や屏風を扱っている店もあり、機械で制作された掛軸や、下張り工程を省略・簡素化した屏風などが並んでいます。本展では、京表具師による「手仕事」にこだわった作品を展示し、遠目からではわからない、量産品との違いをご覧いただけます。

また、京表具伝統工芸士による作品解説、お客様相談コーナーでは、表具のみならず、内装・クロス・襖などの、すまいのお悩み相談も受け付けています。<入場無料>



和洋室どちらにでも合うことを意識して制作した作品



【第61回表美展】

会期 平成28年10月29日(土)30日(日)

10:00 ~ 16:00

会場 京都市勧業館みやこめっせ 地下1階 第1展示場

共催 京都府 京都市 京都府中小企業団体中央会

京都商工会議所

本件に関するメディアからのお問い合わせ先

京都表具協同組合 表美展委員長:中川 義博 広報部長:藤田 幸生

〒615-0042 京都市右京区西院東中水町17 京都府中小企業会館5階

TEL:075(314)5700 FAX:075(313)1120

ホームページ:www.kyo-hyougu.jp/

e-mail:kyoutohyougu2007@yahoo.co.jp